

文京区立千駄木小学校 令和4年度 学校経営計画（概要版）

文京区教育ビジョン

個が輝き共に生きる文京の教育

文京区教育委員会教育目標

- 心身ともに健やかで、自他を尊重し、人間性豊かにたくましく生きる人
- 自ら学び考え、表現し行動する人
- 社会の一員として広い視野をもち、日本の将来を担う人
- 地域を愛し、共に生きる社会を築く人

千駄木小学校 教育目標

自立・友愛の精神に満ち、気迫と品格のある千駄木小の子どもを育成する。

- ◎深く考え正しく判断する子ども
- ◎心豊かで思いやりのある子ども
- ◎礼儀正しく節度のある子ども
- ◎健康でたくましい子ども
- ◎勤労を尊び助け合う子ども

経営理念

○品格のある千駄木小の子どもを育てる教育の実現

○3つのワーク（チームワーク・ネットワーク・フットワーク）で常に一步前を

目指す理想像

目指す学校像

「保護者・地域の皆様とともに子どもを育てる学校」 「明日（の学習、の学校生活）が楽しみになる学校」

目指す児童像

「自立・友愛の精神に満ち、気迫と品格のある子ども」
「目標をもって一生懸命に取り組み、周りの人への思いやりをもった言動ができ、千駄木小学校の子どもであるという誇り（プライド）をもてる子ども」

目指す教師像

「子どものよさや可能性を引き出し、伸ばすことができる教師」
「千駄木小学校の教員であるという自覚と誇りをもって職務にあたり、ともに高め合い、学校の課題解決に協力して尽力する教師」

4 教育活動の目標と方策

(1) 学習指導 深く考え正しく判断できる子供の育成

基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成

- ・「千駄木スタンダード」に基づく全教員の共通理解をもとにした学習習慣・学習規律の指導
- ・「対話タイム」において対話の基礎力を培う。
- ・「質問教室」での質問する機会・補習のチャンスの設定
- ・学年で統一した家庭学習の確実な実施（タブレットの活用を含む）
- ・月曜日の朝に、保護者による読み聞かせと朝読書の実施
- ・各教科の指導内容に関連した読書活動
- ・年度当初の図書室の利用指導の実施
- ・図書支援員の協力のもと読書活動の実現
- ・図書委員会の活動の活性化
- ・一人一台タブレットの環境を活用した学習活動の充実

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ・各種学力調査、児童による授業評価、学校生活振り返りアンケート等、各種データを基にした授業改善
- ・多くの教科・活動での対話を取り入れた授業の実現
- ・プレゼンテーション能力の向上
- ・M I Mの取組による語彙の拡充
- ・教員の授業参観による指導技術の向上

健康でたくましい子どもの育成（体力向上）

- ・中休み30分間、文林中学校庭の活用など、体を動かす機会の拡充
- ・体力向上につながる「縄跳び週間」「大縄週間」「マラソン月間」の実施
- ・記録の伸長を確認できる学習カードの活用
- ・体力アップトレーナーを活用した体育授業及び保健指導の充実
- ・がん教育の実施

(2) 生活指導・特別支援教育 心豊かで思いやりのある子供の育成

自分のよさを発見させる

- ・「いいとこみつけ週間」を「いのちと人権を考える月間」と関連させ5月・12月に実施。
- ・各学期の終わりに学校生活振り返りアンケートの実施。今学期の成果と課題の自覚、次学期の目標設定につなげ、自己の課題解決を考えさせる。
- ・調査結果及び日常観察などを通じた児童理解を学級経営に生かす。
- ・月に一回以上よさを認め合う活動を実施
- ・よさを引き出す活動の実施

友達とよりよい関係を築く

- ・「ふれあい月間」に心のアンケート及び担任等による個別面接を行い、問題があれば解決につなげる。
- ・弁護士によいじめ防止授業（5・6年）、年間3回のいじめ防止授業の実施
- ・コミュニケーションスキルトレーニング、アンガーマネジメントの学習を実施し、コミュニケーション不足によるトラブルの解決能力を高める。
- ・授業中に友達のよさを認める発言を促す時間を設定する。

一人一人を大切に学級、子どもの居場所がある学級づくり

- ・年度当初、学級開き研修及び千駄木スタンダード研修を実施し、児童と教員、児童と児童の出会いをよいものと感じ、みんなで学級を作っていくとする気持ちを引き出す。
- ・3・4・5・6年生を対象にHyper Q Uを実施し、心のバランスや学級への所属意識を把握し、自分の居場所だと感じられる学級経営の充実・改善

互いのよさや違いを認め、高めあう児童の育成

- ・「千駄木の決まり」に基づいた生活指導の実現
- ・「挨拶・廊下歩行・言葉遣い」を重点とする基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成
- ・「千駄木スタンダード」「千駄木の決まり」に基づいた同じ方向での生活指導
- ・「いつでも、どこでも、だれにでも」伝わるように挨拶することを身に付けさせる。

個に配慮した指導の実現・特別支援教育の充実

- ・ユニバーサルデザインを活用した学習環境づくりの検討、見直し、整備
- ・特別支援教育研修の実施
- ・巡回指導教員による研修、配慮が必要な児童の対応への臨床心理士等からの助言
- ・見通しをもって過ごすことができるための手だて、視覚・聴覚刺激への反応を減らすための教室配置などの工夫
- ・登校できない児童への個別の対応策を講じ、現状の改善を図る。

(3) 特色ある教育活動 自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越える

オリンピック・パラリンピック教育及び日本の伝統・文化理解の教育の充実

- ・障害者スポーツ等への理解、福祉への目覚め、ボランティア活動への意欲の高揚
- ・地域を活用した伝統文化の継承につながる学習活動の段階的な実施

秋田県美郷町立仙南小との交流の充実

- 3年 社会・総合
- 4年 国語
- 5年 仙南小訪問・千駄木小訪問

保幼小中連携（円滑な接続を図り、校種をこえた連続性のある教育の実現）

- ・小中連携教育モデル事業校として取り組んできた、児童会・生徒会の交流、プレゼンテーション能力向上の実施、課外活動から部活動への連続化、中学校教員による出前授業、小学校と中学校の連携による読書活動の充実を定着させる。
- ・4校園合同の教員研修や授業参観の実施
- ・年長児保護者会への参加による広報活動
- ・スタートカリキュラム・アプローチャリキュラムの実施と見直し
- ・園児との交流、中学生との交流

高齢者理解学習

- 3年 ふれあい交流
- 4年 高齢者体験
- 5年 認知症理解

SDG sの視点に立った教育活動

- SDG sの視点と本校で実施してきた教育活動の関連について分析・整理し、教育活動の充実・発展に向けた検討を進める。

(4) 学校運営・その他

学校評価を活用した学校運営のPDCAの確立 保護者と連携・協力した教育活動の実施
地域とのWin-Winの関係の形成

5 教職員の指導力向上

胸を張って子どもの前に立てる教職員であり続ける。 組織的な学校運営への参画